

□ ■ シェムリアップの新たな空の玄関口がオープン ■ □



こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスの柴田です。

アンコール・ワットは、カンボジアが世界に誇るランドマークであり、世界遺産として登録されているアンコール遺跡群の中でも最も有名な遺跡です。日本に住んでいても学校の教科書や旅番組などで一度はアンコール・ワットを目にしたことがあるのではないのでしょうか。

2023年の10月に、このアンコールの名を冠した新たな空港が、カンボジアのシェムリアップにオープンしました。今回はこのシェムリアップの新国際空港、「シェムリアップ・アンコール国際空港」について紹介いたします。

【シェムリアップ・アンコール国際空港】

2020年3月に中国政府系のアンコール・インターナショナル・エアポート・インベストメント・カンボジアが工事を開始し、2023年10月16日に開港しました。同空港の総敷地面積は約700ヘクタールで、北海道の新千歳空港とほぼ同じ大きさになります。中国企業3社が同空港の建設に出資しており、総工費は11億ドル（約1,600億円）に上るとされています。

このシムリアップ・アンコール国際空港が開設された目的の 1 つに、冒頭で述べたアンコール遺跡の保護があります。新空港の開業と同日に閉鎖されたシムリアップ国際空港は、アンコール・ワットから西へ 5km 程と非常に遺跡から近い距離にありました。旧空港は 2005 年の国際ターミナル開業後、アンコール遺跡を訪れる観光客の増加に合わせて拡張を続けてきました。

この空港から遺跡までの距離が近かったために、発着する旅客機の振動や騒音が遺跡へ悪影響を与えることが懸念され、大型機の発着など空港を運営していく上で様々な制限がかけられていました。

新空港はシムリアップ市内中心部から東へ約 45km のところに位置しており、大型機も発着が可能です。新空港の開港の記念式典でボンセイ・ビソット副首相は、今後のフライト数と乗客数の増加次第で空港の面積をさらに拡張する用意があるほか、「空港に隣接する 1,000 ヘクタールは経済特区として準備しており、地域一帯を空港都市へと変貌させる計画だ」と述べており、空港および周辺エリアの今後のさらなる開発が進みます。

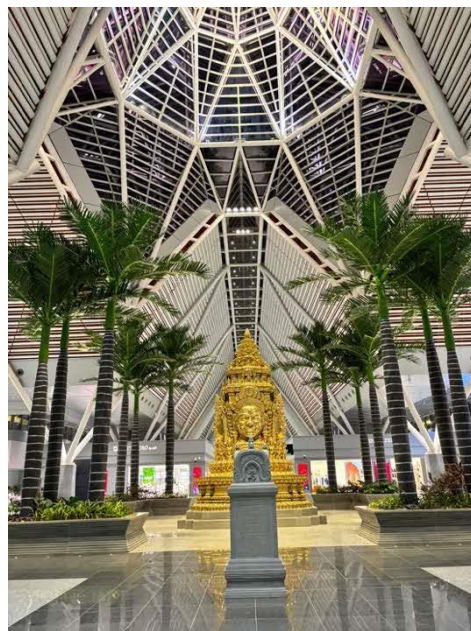
発着便数が増加することから、新空港の年間旅客取扱能力は 2024 年に 700 万人で、2040 年には 1,200 万人への増加を見込んでおり、観光業界への追い風となることが期待されています。

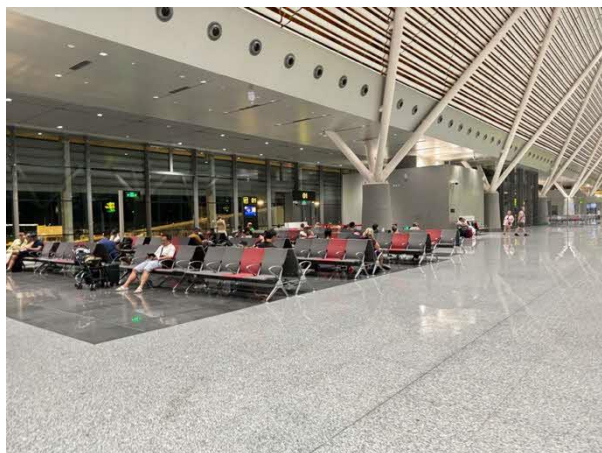
【開港早々に起こる不満】

エリアの開発など、将来的な発展が期待されている一方で、開港から数ヶ月のうちに、既に新空港に対する不満の声が上がっています。

特に市内からのアクセスの悪さを指摘する声が多く、旧空港からは車で約 20 分で市内中心部で移動できていたのが、新空港からだとタクシーで約 1 時間。バスを使うと約 1 時間 30 分かかります。

首都のプノンペンや隣国タイのバンコクへ移動する際、空路を選択した場合、実際の飛行時間と空港への移動やチェックインにかかる時間を合計し、バスで移動した場合と比較すると、かかる時間はあまり変わらないため、航空運賃の高さを考えると、バスのほうがコストパフォーマンスが良い、という声も上がっているようです。





また、空港内の施設の少なさも指摘されています。開港当初は飲食店がなく、利用客は売店で軽食を買うという選択肢しかありませんでした。筆者も12月頭に観光を目的にシムリアップへ渡航し、新空港を利用しました。シムリアップからバンコクへの帰路、その日の最終便（21時55分シムリアップ発）を利用したこともあり、到着時の空港は閑散としており、フードコート用の飲食エリアはありましたが、お店は3-4店程度で売店も小さなものが1店しかなく物寂しい印象でした。

【東南アジア各国が進める空港拡張】

今回の記事では、昨年10月に開港したシムリアップ・アンコール国際空港についてお伝えしましたが、それ以外の東南アジア各国でも空港の拡張を競うように進めています。

カンボジアの他、タイ、ベトナム、フィリピン、マレーシア、インドネシア、シンガポールでも各国の首都や近郊の空港の拡張計画が進行しており、旅客取扱能力について拡張前後の数を比較すると、2023年の拡張前が合計3億3600万人なのに対し、2030年には2倍近い6億5250万人までに拡大することが予想されています。

カンボジアは、シムリアップだけでなく首都のプノンペンでも、2025年の開業を目指し新国際空港の建設が進んでおり、総工費は15億ドル（約2250億円）で、旅客取扱能力は開港当初が1300万人、30年時点で3000万人を見込んでいます。

またタイでは、バンコク近郊のスワンナプーム国際空港では、2023年に9月下旬サテライトターミナルが開業しており、最大28機が駐機可能で、年1500万人の旅客取扱能力があります。その他、今年2024年には3本目の滑走路の完成を予定しており、2030年までに2つ目のサテライトターミナルと滑走路1本が追加される計画です。その他に、ドンムアン空港と東部のウタパオ空港の拡張も進めるなど、精力的な投資を続けています。



ベトナムの首都ハノイにあるノイバイ国際空港も拡張が進んでおり、2030年までに取り扱い能力を約2.4倍の6000万人に引き上げを目指しています。

空港拡張により国として得られる恩恵は大きく、世界の主要都市とのアクセスが改善され、観光とビジネスの両面で旅客を呼び込めるほか、外資企業の新規進出なども期待ができます。空港建設に要する莫大な投資から生まれる大きな直接的経済効果も見込むことができます。

【最後に】

シエムリアップの新空港は市内中心部へのアクセスや空港内の施設の充実などまだまだ課題が多く、さらに周辺地域も含めた大型開発計画もあるため、今後の動きを注視していく必要があります。

また、カンボジアだけでなく、東南アジア全体として空港の拡充計画が進んでおり、近い将来に同エリアへの人の往来が増加することでさらなる活気につながることを期待しています。

□ ■ タイ企業インタビュー ■ □

～日系企業との取引に関心のあるタイ現地企業をご紹介します～

C.C.AUTO PART CO., LTD.

C.C.オートパーツ株式会社



■ 貴社の沿革

1. 貴社の沿革

1990年にC.C. Auto Part Co., Ltd.は設立されました。当初は、自動車用スタンピング製品の製造から始めましたが、1997年には自動車部品の需要が減少したため、医療機器産業に事業を拡大しました。弊社は高度の品質管理体制を持つ日本の自動車産業からノウハウを取り入れ、日本から仕事や技術を教わる機会もありましたので、当事業展開は成功裏に進みました。その後、機械製造業にも事業を拡大しました。

2. C.C. Auto part Co., Ltd.の強み

弊社は 33 年にわたり着実な成長を遂げ、従業員を育成し、日本からの技術を取り入れてまいりました。Drawing（図面）に基づいた作業プロセスを理解し、約束期限内に製品を納品することができます。また、金型を自社生産できるため、生産コスト低減につながります。

■ 貴社の医療機器産業におけるビジネスについて

3. 貴社の医療機器産業におけるビジネスについて

当社は歯科関連機器の製造において優れています。まず初めに、デンタルユニット機器のメンテナンスサービス提供を開始しました。たくさんの機器を修理することにより、専門スキルを取得し、いろいろなメーカーのデンタルユニットの構造を見ることができました。各モデルのメリットとデメリットから学び、自社製品開発の際にはいろんなモデルの良い点を取り入れることにより、高品質で他社製品の弱点を克服した製品を市場に提供できるようになりました。ただし、顧客は医療機関のため販売数は多くありません。

弊社はタイ企業で初めて、医療機器の品質管理マネジメントシステム規格 ISO13485 の認証を受けています。現在、歯科医療機器のほぼ全ての製造が可能です。加えて、患者用ベッド、歩行補助器、車椅子の受注製造も行っています。現在、イギリスからオーダーを受けて、たくさんの車椅子を製造しています。



PentaVac PV-06DP



Jet Clave



Mobile Dental Light



Dental Unit C-Swing



Pentazon VRT-07 MAGNET
Ultrasonic Scaler



PENTADENT MD-5



Dental Unit Wealth



PENTADENT MD-2

歯科関連機器



เก้าอี้ช่วยพยุง



รถช่วยพยุงเดิน



Wheel Chair CC60S



Wheel Chair CC60



เตียงผู้ป่วยไฟฟ้า 5 ฟังก์ชัน
ราวปีกน



เตียงผู้ป่วยปรับระดับ ระบบมือ
หมุน 3 โถง



เตียงผู้ป่วยปรับระดับ ระบบมือ
หมุน 2 โถง

医療機器

4. 貴社の機械製造業におけるビジネスについて

歯科関連機器の製造から、機械製造業にも事業を拡大しました。というのも、最初、自動車部品製造用の機械購入のためかなりの初期投資が必要で、その後、顧客からの受注が増加すると、生産能力向上のため機械を追加購入しなければなりません。コスト低減のため、使用する機械を自社で生産するようになりました。

初めに製造したのはバンドソー（帯のこぎり）です。当初は社内使用を目的として製造したので、機械のデザインよりも性能に重点を置いていました。その後、改良を重ね、機械の性能に自信を持った時点で、タイ国内の機械製造の開発を手掛ける機関や組織の協力を仰ぎ、あらゆる面で品質の高い機械開発ができるようタイ人と日本人の専門家からアドバイスを取り入れ、バンドソーの製品化を実現しました。弊社は自社ブランドのバンドソーを製造する初めてのタイ企業となりました。

弊社が製造した機械は輸入した機械に比べ、低コストで導入いただけるため、OEM 生産を行っている顧客に大変喜ばれました。また、海外から機械の輸入を必要としないという点に加えて、タイの経済的自立を支える事業とも位置づけられます。それはタイの「新 S カーブ産業政策」*¹の目標でもあります。

*1 タイ政府による用語で、ある産業が幼稚産業の段階から発展し、その後徐々に成熟する様をアルファベットのS字になぞらえ、新たな育成対象の産業を「新Sカーブ産業」としている。対象業種は下記。

- ① ロボット産業（Robotics Industry）
- ② 航空及び物流業（Aviation and Logistics Industry）
- ③ バイオ燃料及びバイオケミカル産業（Biofuel and Biochemical Industry）
- ④ デジタル産業（Digital Industry）
- ⑤ 医療ヘルスケア産業（Comprehensive Healthcare Industry）



BANDSAW H-300X



BANDSAW S-280HA



CNC Waterjet Cutting



BANDSAW H-300 AUTO



BANDSAW H-500II



CNC Plasma Cutting



Threading



BANDSAW CC712A

C.C.AUTO PART のバンドソー

5. 日本企業やパートナーシップと協業の経験

日本の企業は優れた顧客であり、持続的な協力関係を築けると考えます。中国や西洋の顧客は我々が顧客の期待する価格や要望に応えられない場合、他の製造業者を見つけようとするでしょう。一方で、日本の顧客は何か問題が発生すれば、直接話し合い、相互にアドバイスをしあい、共に解決策を見つけようとしています。知識や技術の共有も行うことができます。

また、日本のパートナー企業との協力という点ですが、私たちは島根県出雲市の（株）研電社という企業とパートナーとなり、「C.C. Kendensha」という合併会社を設立して協力しています。大手ではありませんが、非常に革新的であり、高い品質管理が行われています。弊社とパートナー企業が製造する製品の品質管理はパートナー企業が行い、協力しながら最高品質の製品を製造しています。

■ 貴社のビジネス目的について

6. 今後のビジネス展望

現在、研電社に加えて、タイ国内で革新的な製品製造ができる日本のパートナーを探しています。私たちはすでに工場と機械があり製品の製造が可能ですが、自社だけで革新的な製品を開発するにはコストと時間がかかります。

一方、日本は革新的な国でありながら、製造において労働力不足や新しい工場の建設コストが高いという課題をかかえています。たとえば、日本企業がタイ国内で製造工場を設立するならば、土地の取得や機械の購入に数年かかり、製造業で収益を上げるまで、さらに数年かかるでしょう。一方で、日本の革新的な企業が、強い製造基盤を持つ弊社と提携すれば、新しい工場を設立する必要はありません。製造プロセスを開始して1年ほどで売上げを得ることも可能です。また、工場建設のために土地を購入する必要もないのでコストも抑えられます。双方にとって利益をもたらします。

弊社は、事業内容に応じて、代理店、製造委託、共同出資などの形態で日本のビジネスパートナーを歓迎しています。

7. 貴社が求めている日本の製品と技術

私たちは日本で農家の生活を見る機会がありました。家の前の100㎡ほどの農地で、小型農機を使用している様子を見て、タイではまだこのようなニーズに応える小型農機が存在していないことに気づきました。小型農機があればタイの農家も小さな農地で小規模農業を行うことができます。

さらに、電動バイクのモーターやバッテリーなどの技術を持つパートナーも探しています。この産業に関するパートナーは主に韓国企業のなかから探していますが、もし日本に当技術をもつ企業があれば、いつでも一緒にビジネスを進めることが可能です。

8. 日本の企業へのメッセージ

弊社は製造基盤、機械、質が高くかつ専門的な知識を持つスタッフを備えています。自社で金型製造もできます。タイ国内でのビジネスに関心がある、革新的な日本のパートナーを探しています。

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.111

弊社はタイでの生産基盤をサポートできますので、日本のパートナー企業は生産拠点を設立するためのコストを削減し、迅速なコスト回収が可能となります。以前に、日本企業と協力して生産拠点設立をし、わずか1年で生産ラインを始動した経験もあります。

また、小型農機に関するビジネス提携についても、商談の機会を待っております。



【企業概要】

企業名 : C.C.AUTO PART CO., LTD.

設立日 : 1990年5月3日

事業内容 : 自動車部品・歯科関連機器・機械の製造販売

住所 : 29 Moo8 Saladaeng11 Street, T.Saladaeng A.Bangnampeow Chachoengsao
24000, Thailand

Tel : (+66)33-172-834

FAX : (+66)2-988-2337

Email : admin@cautopart.co.th

URL : <http://www.cautopart.co.th/>

□ ■ 山々に囲まれた観光地のスワン・プンの紹介！ ■ □



画像 : The Scenery Vintage Farm
<https://sceneryvintagefarm.com>

こんにちは。島根ビジネスサポートオフィスのタイ人スタッフ、ニンです。

常夏の国、タイでは、11月下旬から1月初旬にかけて天気が良く、気温も少し下がり、涼しくなります。この時期の平均気温は約20℃～30℃で、涼しい風が吹くため、とても過ごしやすいです。特に、朝と夕方の天候は非常に良いので、タイ人はよく「一年中こんなに素晴らしい天気であってほしい」と言っています。私自身もその意見に全く同意です。

涼しくなると、私は自然に囲まれた観光地を思い出します。そこで今回は、バンコクから少し離れた山々に囲まれた美しい観光地、スワン・プンを皆さんにご紹介したいと思います。

【スワン・ブンとは？】

スワン・ブンは、タイの中部、ラーチャブリー県に位置する郡の一つです。スワン・ブン郡の総面積は約 2,145 km² に及びます（情報提供：ラーチャブリー県公式ウェブサイト）。バンコクからは約 150 キロ離れており、車で移動すれば約 2 時間半の距離です。

スワン・ブンは山々や滝など、自然が豊かな地域で、その美しい景色の中にはおしゃれなカフェや羊牧場、キャンプ場などの観光スポットが点在しています。バンコクからそれほど遠くないため、新たな観光地を探している方には、スワン・ブンをおすすめします。

【スワン・ブンのおすすめの観光地】

スワン・ブンは自然に恵まれ、多くの観光地が点在するスワン・ブンには、必見の観光スポットがあります。以下で紹介するスポットは、スワン・ブンを代表する名所です。

【ザ・シーナリー・ビンテージ・ファーム（The Scenery Vintage Farm）】

ザ・シーナリー・ビンテージ・ファームは、山々に囲まれた広大で美しい羊牧場です。ここでは、様々なアクティビティを楽しむことができます。たとえば、羊に餌をあげたり、羊の乳で作られたアイスクリームを試食したり、馬に乗ることもできます。

さらに、ザ・シーナリー・ビンテージ・ファーム内にはお洒落なリゾートがあり、宿泊も可能です。そこからは、羊牧場の美しい夜景を眺めることができます。豊富なアクティビティと美しい景色が楽しめることから、家族旅行には特におすすめの場所です。特に、子供がいる家族には最適なスポットです。



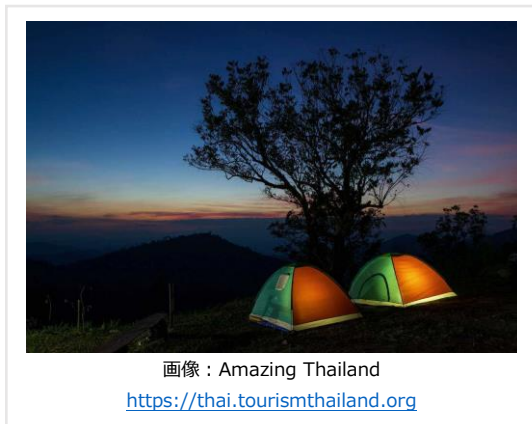
画像：The Scenery Vintage Farm
<https://sceneryvintagefarm.com>

【カオ・グラジーム (Khao Krachom)】

カオ・グラジームは標高 1,045 メートルの山で、冬季にスワン・プンの人気観光スポットとなります。また、ミャンマーとの国境に近いので、ミャンマーの風景を望むことができます。

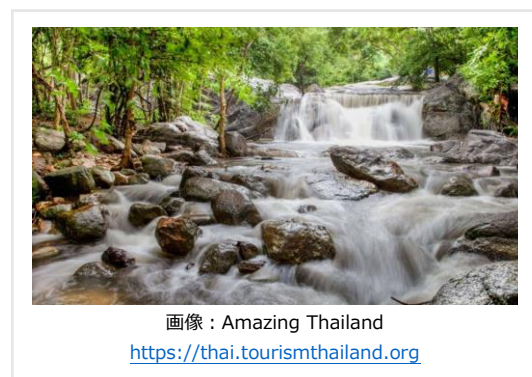
気候は一年を通じて良く、いつでも訪れることが可能です。ただし、緑豊かな風景と雲海を堪能したい場合は、梅雨が終わり冬が始まる時期に訪れることをおすすめします。

また、カオ・グラジームへの道のりには滝があり、その美しい風景を眺めながら休憩することができます。自然を愛する方やキャンプが好きな方にとって、カオ・グラジームは特におすすめです。



【カオチョン滝 (Khao Chom Waterfall)】

カオチョン滝は、スワン・プンの名所であり、9段にわたる中規模の滝で、一年中水が流れています。1 段目から 9 段目までの距離は約 2 キロメートルで、徒歩で 2 時間ほどかかります。2 時間という時間は長く感じられるかもしれませんが、その間に豊かな自然を楽しむことができるので、あっという間に過ぎてしまいます。



特に、9 段目の滝は最も美しいと言われていますので、カオチョン滝を訪れる際には、ぜひ 9 段目まで足を伸ばしてみてください。

また、雨季がカオチョン滝を訪れるのに最適なシーズンです。雨季には滝の景色が一段と美しくなります。

【オーポイ市場 (Oh Poi Market)】

オーポイ市場は、週末と祝日のみ開催される朝市で、観光客向けの市場と言えます。この地域には山岳民族のカレン族が住んでおり、その文化が市場の特色となっています。オーポイ市場では、カレン族特有の食べ物や民芸品を楽しむことができます。

さらに、オーポイ市場は川に近く、朝 7 時半頃には僧侶がバンブーラフティングでト鉢に来ます。ト鉢に参加したい方は、市場でト鉢セットを購入し、参加することができます。

オーポイ市場自体は大きくはありませんが、休憩スペースや飲食スポットが設けられています。



画像 : Amazing Thailand
<https://thai.tourismthailand.org>

【ザ・キャンピング・フィールド・リゾート&カフェ (The Camping Field Resort & Café)】

ザ・キャンピング・フィールド・リゾート&カフェは、その名の通り、山々に囲まれた広大な野原に位置するキャンプ風のリゾートとカフェです。さらに、リゾートの敷地内には広大な花畑があり、その花々は季節に応じて植え替えられます。そのため、年間を通して何度も訪れても、常に新しい風景を楽しむことができます。

また、ザ・キャンピング・フィールド・リゾート&カフェの敷地内には、食事やパーティーを楽しむことができるキャンプ風の屋外スペースもあります。自然を愛する方、キャンプが好きな方、カフェが好きな方にとって、ザ・キャンピング・フィールド・リゾート&カフェは特におすすめのスポットです。



画像 : Agoda
<https://www.agoda.com/the-camping-field-resort/hotel/ratchaburi-th.html?cid=1844104&ds=qj98iauB5eotB240>

最後に

このようにスワン・プンは自然に恵まれており、紹介した観光地以外にも多くの美しいスポットが存在します。さらに、スワン・プンはバンコクからそれほど遠くないため、バンコク近郊で新たな観光地を探している方にとって、ぜひ訪れてみてほしい場所です。

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください

担当：神谷 靖子 Yasuko Kamiya

Address: 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,

Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

▶ タイ経済指標

項目	単位	2020	2021	2022	2023
GDP 成長率	前年比ベ (%)	-6.2	1.8	2.7	2.0 (9月)
人口*	千人	68,152	68,161	69,922	70,077 (10月)
労働者の数*	千人	39,451	38,631	40,143	40,311 (9月)
失業率**	%	1.62	1.94	1.32	1.03 (9月)
最低賃金*	バンコク	331	331	353	353
	チョンブリー	336	336	354	354
	アユタヤー	325	325	343	343
	ラヨーン	335	335	354	354
賃金：全国製造業の平均	バーツ	13,562	13,506	14,305	14,422 (9月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	-0.84	1.24	6.08	5.45 (4月)
中央銀行政策金利*	%	0.50	0.50	1.25	2.50 (11月)
普通貯金率**	%	0.31	0.25	0.28	0.40 (12月)
ローン金利 (MLR) **	%	5.60	5.42	5.50	6.83 (12月)
SET 指数*	1975年：100	1,449.35	1,657.62	1,668.66	1,415.85 (12月)
バーツ/100円**	バーツ	29.33	29.15	26.78	24.82 (12月)
バーツ/米ドル**	バーツ	31.29	31.98	35.06	34.80 (12月)
円/米ドル**	円	106.8	109.8	131.38	144.07 (12月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	779,857	736,716	856,057	702,921 (11月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,501	1,572	1,554	1,664 (9月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	361.41	511.9	618.62	532.59 (9月)

*期末、**平均